

極東国立総合医科大学(ロシア)との 合同医療シンポジウムを開催

7月10日(月)に総合図書館大会議室にて、本学の協定校である極東国立総合医科大学からMarina Fleishman教授、Elena Sazonova教授、Aleksandr Iurkevich教授、Valerii Zavgorudko教授、Natalia Solomenko教授の5名を招き『合同医療シンポジウム』を開催しました。浅香正博学長による開会挨拶に始まり、後援をいただいた北海道より辻泰弘副知事、在札幌ロシア連邦総領事館Sergey Konyaev三等書記官より開会にあたりご挨拶をいただきました。

シンポジウムではMarina Fleishman教授・中央科学研究所長による講演に始まり、午前中に薬学セッションを行い、午後には歯学セッション、リハビリテーション科学セッションの順に順調に進行し、各セッションにおいては意欲的な意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。

最後に浅香学長より極東国立総合医科大学の5名の先生に記念品等が手渡されました。



国立ルブリン医科大学歯学部(ポーランド)と 本学歯学部との間で学部間協定を締結

7月24日(月)、国立ルブリン医科大学よりBarbara Tymczyna歯学部長、Izabela Witkowskaコーディネーターの2名が来日し、本学歯学部との間で学部間協定を締結しました。

浅香正博学長と今後の歯学部間の交流について協議し、引き続き開催された調印式では、Barbara Tymczyna歯学部長と本学齋藤隆史歯学部長との間で協定書を交換しました。

調印式後に行われた大学院セミナーでは、Izabela Witkowskaコーディネーター、Barbara Tymczyna歯学部長の順にご講演をいただき、教員・大学院生が多数参加し盛会のうちに終了しました。



アルバータ大学(カナダ)と学術交流協定を更新

8月10日(木)、安彦善裕国際交流推進センター長と国際交流課 戸根谷幸恵職員がカナダのアルバータ大学を訪れ、語学研修引率中の看護福祉学部ハワード・ターノフ教授とともに学術交流協定更新式に出席しました。

更新式には、アルバータ大学より、エクステンション学部長のKaty Campbell教授、語学研修担当マネージャーのMimi Huiさん、語学研修担当スタッフのMark Bellさん、他4名のエクステンション学部教員と語学研修中の本学学生12名が参加しました。

アルバータ大学とは、1992年の大学間協定締結後、今回5度目の協定更新となり、今後、益々の交流が期待されます。



EDITOR'S NOTE

1年はどれぐらいに感じていますか。人は歳をとると1年が短く感じると言いますよね。これは19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネが主観的に記憶される月日の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く評価される「ジャネーの法則」として心理学的に説明したとされています。私も年々1年が短く感じてきました。幼児の我が子は毎日初めての体験ばかりで長い1年を過ごしているのでしょうか。学生の皆さんの1年はいかがでしょう? 講義、実習、試験、部活、仲間との交流等でまだまだ長い1年を過ごしているのでしょうか? 教職員の皆さんも年々短い1年になってきているのではないのでしょうか? 短く感じると年長になったと嘆くのではなく、毎日の少しずつの努力・勤勉・団結で毎年記憶となる成果・結果を残し成長できたらと思います。健康も研究も日々の積み重ねが大切ですので北海道医療大学全員で頑張れたらと思います。

収穫の秋も終わり冬が近づくと、お体にお気をつけてお過ごしください。

(Y・N記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.168

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 仲西 康裕 松田 康裕
遠藤 紀美恵 志渡 昇一 金澤 潤一郎 澤田 篤史
本家 寿洋 柳田 早織 大山 静江 杉谷 昌彦
宮川 雄一 小林 伶 園部 望未

発行日 ● 2017年11月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
☎0120-068-222
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。